

# 会 議 録

## 1 会議名

令和6年度 第6回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 自主的な審議（公開）

○頸城区における「地域活性化の方向性」について

○頸城区地域協議会視察研修について

## 3 開催日時

令和6年10月17日（木）午後6時30分から午後8時05分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

1名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）、新保哲男（副会長）、小川泉、上村淳、竹田由紀子、橋本春美、船木貴幸、吉越真紀、渡辺繁雄（委員14人中9人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、佐藤教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川副主幹

## 8 発言の内容

### 【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

### 【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：吉越委員、渡辺委員に依頼

### 【上村会長】

- ・挨拶

次第3 自主的な審議「(1) 頸城区における「地域活性化の方向性」について」、事務局、説明と意見交換の進行を願う。

**【渡邊次長】**

- ・事務局からの説明
- ・引き続き意見交換の進行役を務める

事業の柱ごとに担当者を決めてあるので、各柱の担当者から、まず意見を出してもらい意見交換を進めていきたい。「大池・小池を活かした観光」について、新保副会長、いかがか。

**【新保副会長】**

例えば、キャンプ場を利用している人から雁金城へ足を延ばしてもらうために、案内看板など分かりやすい表示があれば雁金城も併せて見てもらえると考える。

冬の行事については、大池・小池の冬の景色は雪の降り始めの景色が素晴らしいので、そこを活かしてもらいたいと思う。

**【上村会長】**

真冬でもキャンプをすることはできるので、それらを利用しながら、冬ならではのこのようなものを取り入れていったらよいのではないかと思う。

**【渡邊次長】**

取り組んだほうがよいものがあれば、他の柱の担当者からも意見を出してもらい、各団体とも調整していきたいと思っている。

次に2つ目のテーマ「くびきのお宝（レールパーク、館）活用」について、この柱の担当である船木委員から意見などがあればお願いしたい。

**【船木委員】**

取組は大体出尽くしているし、担い手があまりいないのでこれ以上のことはなかなか難しいと思っている。

白田邸は登半島地震の影響で、工事の真っ最中である。11月9日、10日に公開予定であるが、襖も取外し畳もはぐり、ビニールシートを床に張った骨組み状態のものをそのまま見てもらうような公開にする。来年の3月には工事が終わるので、春の公開では修理後の白田邸を見ていただきたい。

瀧本邸は保存会もなく家族で対応されているので、なかなか外部の人を巻き込んで何かを企画するといったところまでは至っていないのが現状だ。くびきのお宝のこす

会もレールパーク一般公開に関しては遠方から若い人が手伝いにきてくれているが、それ以外で何かするとしても、地元の高齢者しかおらず、要望があっても対応はできないところだ。とにかく、どちらに関しても一緒に活動してくれる人が増えなければ、今後衰退する一方ではないと懸念している。

#### 【上村会長】

船木委員の意見はそのとおりだと思う。くびき野レールパーク、それから白田邸・瀧本邸について、今応援してくれている団体が高齢化している。くびき野レールパーク一般公開を実施している団体も高齢化が進んでおり、令和7年度ではなんとか若い人に一人でも多くボランティアで来てもらえるように努力し進めていってほしいと思っている。

白田邸も以前から言われている地元の人たちから協力も諦めず、地元の人たちから一人でも参画してもらえる方向へ持って行ってほしい。瀧本邸については、現在、保存会がない。今はくびきまちづくり隊でボランティアを集め清掃活動をしているが、いつになれば地域に認知されるのか少し懸念しているところだ。例えば、地元で集会有る時に団体のメンバーが行って、協力を仰ぐような具体的な方向に進んでいってほしいと思っている。

#### 【渡邊次長】

今の意見は今後の課題であり、ボランティアの確保もしていかなければならないと思う。他に意見はないか。

次に「季節の花が咲く通学路、ポケットパーク」について、7月23日の地域独自の予算事業意見交換会で、例えば頸城の花の日を決めてはどうかという意見が出ている。柱の担当の小川委員より具体的な取組があれば提案をお願いします。

#### 【小川委員】

令和5年度から新しく始めた各地区に花を配るという活動は、来年度も引き続き実施する。現状は花の会だけが活発に動いているが、各町内会の参加までは、まだ浸透していないところがあるので、引き続き話をして協力をもらえるよう動いていきたい。

#### 【渡邊次長】

次に竹田委員、いかがか。

#### 【竹田委員】

小・中学校などは昔のように花が植わっていないように見える。また、児童・生徒

も土に触れる機会が無いように見えるので、これを機にもう少し協力してもらい、挿し木も学校で増やすようなことができるのではないかと考えている。

**【渡邊次長】**

続いて吉越委員、いかがか。

**【吉越委員】**

地域に活動を広めるためには、まず自分からと思い私も10ポットほど植えた。私の町内の子供会は2、3人しかいないが、子供会でそれぞれ各家に植えるという小さな活動から始めている。せっかく苗木を作っているのだから、敬老会の時に集まった高齢者に見てもらったり、配ったりなどすれば、町内会の人にその話が広まりやすいのではないかと考えている。

小川委員の話で各町内会の参加までは、まだ浸透していないとあったが、子どもから発信すると高齢者も協力してくれると思うので、この活動もそのようなやり方がよいのかなと思う。

**【渡邊次長】**

今、3人から意見や提案をしてもらったが他にないか。

**【橋本委員】**

例えば戸野目小学校では、小学校の前の十字路に地域の人が植えている大きな花壇がある。長岡市でも、各小学校が植えている木のポットのようなものが駅前に置いてあるなど、各地域に小・中学校の児童・生徒たちや地域の方たちが育てている大きな花壇がある。頸城にもそういった作る場所、置ける場所があればよいと考えている。

子どもたちも花はとても好きで、花を植えたり野菜を作ったりする活動など、子どもたちが関われる花壇などが地域にあるとよい。例えば、くびき駅や大池いこいの森駅の駅前に各小学校の児童が作ったポットなどを置くと、それだけでも保護者やおじいちゃんおばあちゃんも見ってくれると思う。実際に関われる場所を作ってもらえたら、もう少し花の活動が広がると思う。そのような場所を提供してもらえるとありがたい。

**【渡邊次長】**

子どもから高齢者まで一緒になって、大きな花壇などに共に花を植えたりする具体的な提案があったが他にないか。

**【上村会長】**

昨年、保育園の園児に花の苗と育て方を書いたチラシを配布し、親子で育ててもら

うという活動が、非常に評判が良かったと聞いている。具体的に令和7年度にそのような企画があれば、是非継続してもらい、学校や子どもたちを巻き込んで、積極的に進めていきたいと思う。

また、花の日を作ろうという話が出てから3、4か月経っているので、是非ボランティアの皆さんと意見交換をする機会を作っていかなければならないと思っている。今後、具体的に現場の人とのすり合わせを地域協議会の方から提案し、前へ進めてほしい。

#### 【渡邊次長】

花の日の件は、何日に制定するかはなかなか難しいと思うが、花の日を定めることによって、花を育てたり植えたりするきっかけにはなると思う。

他にないか。

#### 【上村委員】

私は、頸城区に転入してきたのでよく分らないのだが、頸城線にケヤキ並木があって、そこにアヤメか菖蒲しょうぶが綺麗に咲き誇っていた記憶がある。最近は昔に比べて数が減ってきたように見えるが、やはり手入れする人や関わる人が減ってきているのかと感じたのだが、そのあたりのことが分かったら教えてほしい。

#### 【上村会長】

私の記憶では、頸城村当時、頸城線がアヤメロードと言われ有名だったと記憶している。アヤメは雑草の中では育たず、草取りなどの手入れが必要であり、当時は南川地区の老人会の人たちが一生懸命草取りに取り組み、維持されていたと記憶している。また、ケヤキが大きくなり日陰となってしまうアヤメが育ちにくくなったことも原因だと思っている。

今は花の会が一生懸命活動してくれているが、あの当時のようにアヤメを維持していくのは難しいと思う。現在は老人会の勢いもだいぶ弱くなり、頸城にも55町内あるが老人会の団体は半分以下だと思われる。所長いかがか。

#### 【岡村所長】

頸城村の花をアヤメに決め、当時は一生懸命取り組んでいた。集落でアヤメロードを整備している町内会もあった。綺麗な花の並木が整っていたが、会長から説明があったように、管理が大変というところがネックとなり現在に至っている。

**【上村委員】**

今もアヤメは頸城村の花ということで続いているのか。

**【岡村所長】**

今は合併したので、上越市の推奨の花になっている。

**【渡邊次長】**

他にないか。

**【新保副会長】**

先程、どの活動も人手が無くてパワーが出ないという意見が船木委員からあった。そこで、この花の活動に南部産業団地付近の企業からお手伝いいただくのはどうか。頸城線入口から高速道路あたりまでできれば、かなり大きな花壇になるのではないかと思う。やはり人手がかかる作業になるが、せつかく地元にある企業なので協力してもらうのも、一つの手立てかと思った。

**【渡邊次長】**

南部産業団地にある企業では、年に2回程度、地域貢献という形で主に高速道路沿いの清掃活動を土曜日の午前中に行っている。企業から清掃活動などの場所の相談がある時に、花を植えるという提案はできると思うので、機会を捉えて頸城区総合事務所としても声掛けしていきたいと思う。

**【新保副会長】**

苗木を無料で提供するような話も併せてしてもよいと思う。

**【渡邊次長】**

事業の周知も兼ねて話をしたい。他にないか。

**【船木委員】**

南部産業団地に新しい駐車場ができた。あの近辺には街路樹が植わっているが、少し殺風景な感じがしている。国道253号の福田方面から丁字路の信号あたりは、企業の敷地になるかと思うが、廃タイヤや木製のプランターなどを並べて、ちょっとした公園になっている。南部産業団地もそのようにできたらよいのではないかと思うが、街路樹が植わっているスペースに、植木鉢のようなものを置くことは可能なのか。

**【渡邊次長】**

市道であれば市の道路課に、県道であれば上越地域振興局に総合事務所から確認をして、許可をとってから実施となると思う。もし企業から協力いただければ、総合事

務所から担当部署に支障がないか確認する。植木鉢は風で飛んだりする心配もある。

#### 【船木委員】

プランターであれば飛ぶようなこともないと思うので、駐車場の脇に並べたら見栄えも良くなると思う。花の会だけではなく、外国人市民と一緒に活動できれば可能かと思ったので提案させてもらった。

#### 【渡邊次長】

次のテーマ「外国人市民の交流とファーマーズマーケット」について、頸城区総合事務所の主催ではあるが、外国人市民のリーダーを対象とした防災研修会を6月と10月に実施した。地元の方がボランティアで講師になり、地震時にどのように南川小学校へ安全に避難するか研修した。1月の能登半島地震を踏まえ、外国人市民も自分たちのグループは自分たちで安全に避難できるようになることを目的としたもので、外国人市民を雇用している事業所へ声掛けし、20名程のリーダーから参加してもらった。7月23日の地域独自の予算事業意見交換会で出た意見の中で、既に取り組んでいる事業であったので紹介させてもらった。

それでは、柱の担当の上村委員よりお願いします。

#### 【上村委員】

外国人市民の児童・生徒を対象にした学習支援が南川公民館で行われているが、2階のエアコンが故障し会場が変更になっていると聞いている。外国人市民の子どもたちは主に南川地区にいるが、対象の子どもたちが身近で、気軽にその学習の場に集まれるということであれば、やはり南川公民館が最適だと思うので、早急にエアコンの修理をお願いしたい。

また、一生懸命その活動をしている方から、講師として協力してほしいと連絡をもらうが、今後のことを考えていくとスケジュールや人材リストのようなものを作っていくことが必要かと思っている。そうすれば見通しをもって講師を採用することもできる。毎回違った講師だと子どもたちも混乱すると思うし、教え方も慣れが必要になってくる部分があるように思うので、検討してはどうかと思っている。

#### 【渡邊次長】

南川分館の故障しているエアコンは、今年度中に修理する予定である。

続いて橋本委員、お願いします。

**【橋本委員】**

この「外国人市民の交流とファーマーズマーケット」という柱ができた目的は、災害時に国籍問わず皆が避難できるように、そのために普段から顔を合わせて交流していきましようということだったと認識している。では何ができるかということで、ファーマーズマーケットを実施することになった。しかし、イベントを重ねていくうちに、本来の目的よりも、そのイベントが楽しく終わればよいというイベント主体に変わってきていると若干感じている。このイベントが一体何のためにあるのか、どうして生まれたのかを、皆で認識を共有することによってその方向性が少しずつ変わっていくと思う。

**【渡邊次長】**

続いて渡辺委員、お願いします。

**【渡辺委員】**

橋本委員の話聞き、イベントの背景を認識した。

災害時には、自分たちのグループは自分たちで責任持って避難できることが重要であり、そのためにはどこへ避難するか、どういう状況かを理解できなければならない。そのためには言葉が大切であり、日本語を教えることで災害時の避難がしっかりできると思うので、この学習支援はよい取組だと思う。

**【渡邊次長】**

他にないか。

**【上村会長】**

橋本委員の懸念は私も薄々感じており、最初は収穫祭から始まってファーマーズマーケットに引き継がれ、現在は「地域独自の予算事業」として取組を行っている。本来の目的を忘れずにやってほしい。

**【橋本委員】**

先日、ある集会があり、その際にこのファーマーズマーケットに防災の内容を盛り込めばよいのではという意見があった。私もそうならばよいと思っていて、そのグループの中に消防の方面隊長から防災の面でカバーしてもらいたいので参加いただいた。これから始まる交流の企画の中に、災害時の対応の内容を一部盛り込んでいただくありがたい。



### 【上村会長】

事務局からこの件について整理してもらいたい。

### 【渡邊次長】

橋本委員、それから上村会長から指摘があったとおり、やはり災害時に地元の方と外国人市民の方がいきなりお会いすると、なかなか会話をすることができない。

先ほど、外国人市民リーダーを対象にした防災研修会を説明したが、実は外国人市民の方と地元の方が交流によって顔馴染みになることを目的としている。10月の開催時には、町内会の方も参加して、一緒に防災訓練を行い、緊急地震速報を実際に鳴らしどのように避難するかを南川分館の大会議室で実施した。フィリピンやミャンマー、インドネシアの方などが参加したが、英語ではなく、やさしい日本語で会話ができた。実際、私もグループ討議に参加したが、リーダーの方には不慣れな英語を使うよりは、やさしい日本語で説明するとよく理解していただいた。リーダーの中には日本語が上手な方もいて、漢字を書く方もいる。英語が不慣れな市の職員には、やさしい日本語で説明するようにお願いした。

5つ目の「情報発信、子どもの楽しむ場」について、柱を担当する委員が欠席のため、意見がある方からは是非願います。

### 【船木委員】

冬季のイベントを実施する場合、ユートピアくびき希望館の会場だけでなく、区外から人を呼ぶのであれば、グラウンドも使用し、もう少し見栄えのよいことを実施できたらよいかと思う。

### 【新保副会長】

中学校の部活動が完全に地域に移管されるという話を聞いた。中学生が所属している部活動が頸城の範囲を出てしまうような形にもなると思う。先の話になるが、頸城区の子どもたちがどこに所属し活躍しているかといった情報など、取り入れていければと感じている。他の頸城の活動もまとめて見られるような情報の掲載もよいのではと思う。

### 【渡邊次長】

今後、引き続き検討していく案件になるかと思う。他にないか。

それでは、いただいた意見を事務局から提案団体にどのように説明するか、会長、副会長と相談したいと考えている。結果は次回の地域協議会で報告する。

予定していた意見交換は以上だが、他にないか。

**【船木委員】**

「外国人市民の交流とファーマーズマーケット」の事業は、防災や外国人市民との交流を主とした方向に進んでいくと理解するが、そうなるとこのファーマーズマーケットの文字があると、やはりイベントがメインのように感じてしまう。そもそもファーマーズマーケットは農家が自分で作ったものを売るという意味合いなので、農家が野菜などを売るということがないのであれば、ファーマーズマーケットという言葉は抜いてよいと思う。

**【渡邊次長】**

国際交流フェスタの中にファーマーズマーケットのような農産物販売が含まれている。

他はよろしいか。以上で意見交換を終わる。

**【上村会長】**

今の議論の中で外国人市民の防災訓練についての意見が盛んに出たが、既にご存知のとおり、南川地区で一つの町内会が積極的に防災訓練を実施している。町内会の皆さんとコミュニケーションを取りながら事業を進めていかなければならないと思う。

この議題については、今ほど事務局から説明があった方向性でいきたいと思っている。以上で自主的な審議「(1) 頸城区における「地域活性化の方向性」について」を終了とする。次に自主的な審議「(2) 頸城区地域協議会視察研修について」に入る。事務局、説明願う。

**【渡邊次長】**

・事務局からの説明

**【上村会長】**

いろいろな意見があるかと思うがいかがか。

**【新保副会長】**

南川地区だけではなく、おそらくこれから上越市全域で外国人市民が増えいくと考えている。南川地区の町内会長や地域の方が非常に苦勞されている話を聞き、地元の方が一生懸命活動されているので、地域協議会は権限も予算も持っていないが、何か協力できるようなことがあればと思っている。

まずは、その辺りのことをわくわくクラブから話を聞きたいと思っている。極論だ

が外国人市民対応の窓口が市役所にあると思うが、頸城区に常設で第2窓口をつくってもよいのではと思っている。どこまでお手伝いできるかというような話を聞いてはどうかと考えている。

**【上村会長】**

他にないか。

遠方に行くだけが視察、研修ではなくて、地元で話を聞き意見交換するというものがあると思うが、意見を願います。

**【吉越委員】**

市民プラザの中で外国人市民の対応をしているのはどういった団体でどのような活動をしているのか。

**【渡邊次長】**

公益社団法人上越国際交流協会が主に外国人市民の相談に乗っている。また、市の委託を受けて南川分館で日本語教室を開催したり、防災のイベントなどで活動したりするなど市全体的な取組を行っているが、教育の相談までは行っていないと思う。

今、大きな課題が高校受験であり、わくわくクラブが中学生を対象にした学習支援をしていただいている。

**【新保委員】**

わくわくクラブの代表者からは、ボランティアで行っている話を聞いているが、外国人市民の児童・生徒を対象にした学習支援も費用はかかっているはずである。

地域協議会は予算を執行する権限はないが、市長に意見書を出すことができる。この件で意見書を提出することが適切かは分からないが、地元の意見を聞き検討してもよいのではないかと思う。

**【上村会長】**

今日は欠席者も何人かいるので、今後の方向性について事務局と少し詰めていきたい。事務局、提出する時期は決めた方がよいか。

**【渡邊次長】**

遅くとも年内に決めていただければと思う。

**【上村会長】**

それでは11月、12月の地域協議会でもう少し皆の話を聞き、遅くとも12月には決めたいと思う。よろしいか。それでは自主的な審議「(2) 頸城区地域協議会視察

研修について」は終了とする。次に「4 その他」に移る。

**【渡辺班長】**

- ・ 次回の地域協議会の開催前に地域協議会だよりの編集委員会の開催について
- ・ 頸北地区地域協議会委員の合同研修会の開催について

**【渡邊次長】**

- ・ 次回の地域協議会の開催日程について提案

令和6年11月20日（水） 午後6時30分より開催

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。